

山口県の道路整備施策体系

山口県では、平成10年に県政運営の指針として「やまぐち未来デザイン21」を策定しており、この中で道路整備の長期計画として「ジョイフルロード構想」を掲げ、道路整備の指針としています。

また、実行計画を策定し、ジョイフルロード構想の実現に向けて計画的な道路整備を進めています。

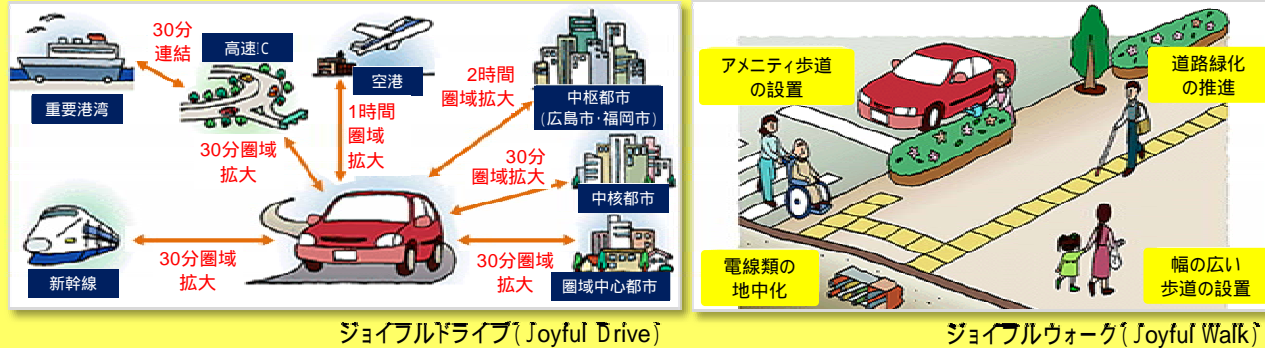
【山口県の将来ビジョン】 やまぐち未来デザイン21

策定年月:平成10年2月
 計画期間:平成10年(1998年)～平成24年(2012年)
 基本目標:21世紀に自活できるたくましい山口県の創造
 6次にわたる実行計画のもと計画的に諸施策を推進

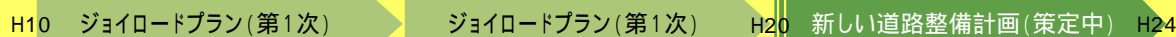


【道路整備の将来ビジョン】 ジョイフルロード構想

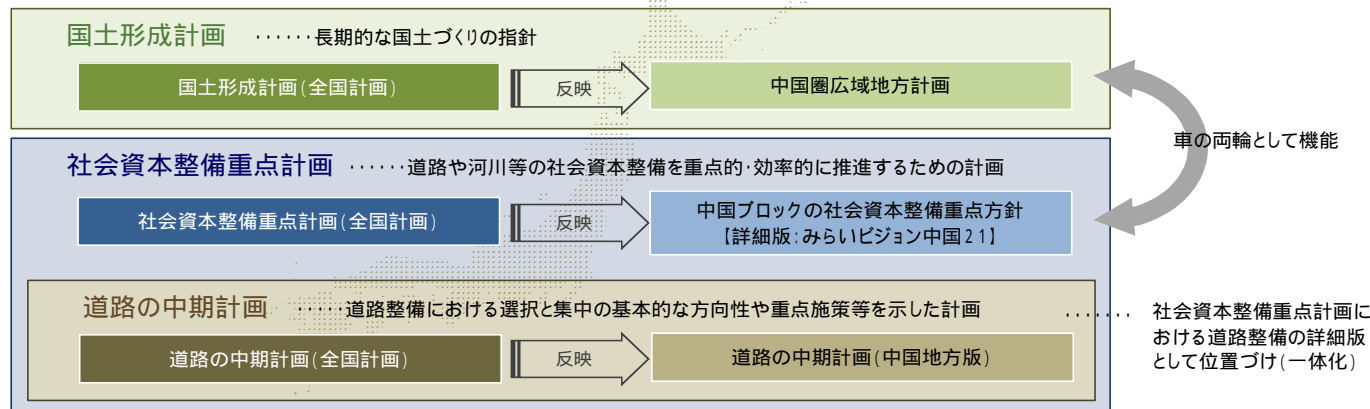
策定年月:平成10年7月
 計画期間:平成10年(1998年)～平成24年(2012年)
 取組目標:地域間の移動時間の短縮(ジョイフルドライブ)と快適な歩行空間の形成(ジョイフルウォーク)



構想実現に向けて実行計画を策定し、計画的に様々な道路施策を推進



【参考】全国及び地方ブロックの道路に関する諸計画



山口県広域道路整備基本計画

広域道路整備基本計画は、広域的な交流の促進や地域間の連結強化を図るため、高規格幹線道路の整備とあわせ、地域高規格道路網やこれらと一体的に機能する広域的な幹線道路網の整備を計画的に進めるため策定する幹線道路網計画です。「広域道路整備の基本方針」と概ね30年後の将来ネットワークを表現した「広域道路網マスタープラン」で構成されています。

山口県広域道路網マスタープラン

高規格幹線道路と広域道路(国道、主要な県道)で構成しており、このうち広域道路は交流促進型と地域形成型に区分されます。地域高規格道路は交流促進型から選定されます。

経緯

平成5年12月24日 第1回目策定
 平成10年6月16日 第2回目策定(見直し)

